

# 大野小学校学校運営協議会だより

「みんなでつくろう幸せな学校」



令和 7年 5月28日

自ら進んで学ぶ子 自分を高める子 互いを認め合える子

第1号

進んで健康な体をつくる子 すべての子どもが幸せを実感できる地域にする

## 令和7年度も引き続き、よろしくお願いいたします。

令和7年度が始まり早2か月、スポーツフェスティバルを終えた6年生は、学校のリーダーとして頼もしくなってきました。1年生も少しずつ学校に慣れてきたようです。

さて、5月28日（水）に開催された第1回学校運営協議会の内容について報告させていただきます。

学校運営協議会とは、未来を創り出す子どもたちのよりよい成長のために、学校と地域が目標やビジョンを共有し、連携協働しながら一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を実現するために行う会議のことです。大野小学校の心強い応援団といったところでしょう。もちろん、会議は誰でも傍聴することができます。また、会議の内容については、この「大野小学校学校運営協議会だより」でお伝えしていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### 令和7年度 大野小応援団！委員の皆様

- 1 油井 恵美子（ゆい えみこ）読み聞かせボランティア
- 2 埴田 雅弘（たおだ まさひろ）下貝塚中ブロックコミュニティクラブ代表
- 3 柴山 温行（しばやま あつゆき）梨風苑自治会会長
- 4 高橋 美代子（たかはし みよこ）民生児童委員
- 5 幸村 秀人（こうむら ひでと）令和7年度 PTA 会長
- 6 小出 直美（こいで なおみ）令和7年 PTA 副会長
- 7 相川 結唯（あいかわ ゆい）令和7年度 PTA 副会長
- 8 淡路 洋（あわじ ひろし）地域学校協働活動推進委員、南大野1丁目自治会会長
- 9 木村 真（きむら まこと）地域学校協働活動推進委員
- 10 細川 雅彦（ほそかわ まさひこ）千葉県立大野高等学園校長
- 11 寒河江 教子（さがえ みちこ）市川市立大野保育園園長
- 12 土橋 弥生（どばし やよい）市川市立大野小学校校長
- 13 大崎 誠（おおさき まこと）市川市立大野小学校教頭
- 14 加瀬 耕介（かせ こうすけ）市川市立大野小学校教務主任、地域連携主任



会長  
埴田さん



副会長  
淡路さん

### 【第1回学校運営協議会概要】

《日 時》 令和7年5月28日（水） 11時 30 分～13時 30 分

《場 所》 大野小学校 ランチルーム

《次 第》 ○学習参観

○給食試食

○委員任命・自己紹介

○会長・副会長の選出及びあいさつ

○令和7年度の学校運営について



学習参観



委員任命



会長・副会長選出



学校運営について



協議



協議

## 委員の皆様の感想及びご意見です

委員	・学校を身近に感じることができた。いろいろな体験をさせてもらい、ありがたい。 しかし、先生たちへの負担はないのか。先生方への対応について教えてもらいたい。
校長	・5年生以上、教科担任制にすること、1年生以上、道徳科を中心にローテーション授業をすることで、教材研究に かける時間を短くするだけでなく、繰り返し同じ授業をすることで授業力向上を図ることができる。 ・教材や資料などのデータを残すことで、皆で共有・活用していく。 ・教頭や教務が相談しやすい雰囲気を作り、風通しの良い職員室になるよう努めている。 ・月一回、職員会議の後の職員誕生日会を行うなど、モラルアップに努めている。 ・地域の人材を活用することにより、先生方の負担軽減に努めている。
委員	・スポーツフェスティバルを見ても、体力の低下が懸念された。大谷選手をはじめ、世界で活躍する日本人選手 がたくさんいる。「頑張ればできる。」ということも教えてもよいのではないかな。
校長	・道徳やキャリア教育・福祉教育等でアスリートに触れる機会をつくり、「あきらめずにチャレンジする」という気持ち を育てていく。
委員	・学校支援実践講座と多文化共生講座について教えてください。
校長	・どちらも市川市の事業で、学校支援実践講座は、いじめ防止が目的であり、子どもたちのグループの中に支援員 が入り、市が考えた事例について話し合いをするもの。 多文化共生講座は、国際交流の一環で、食や衣服をテーマに、その国の方が講師となって文化や風習の違いにつ いて話をしてもらうというもの。
委員	・英語の授業を見た際に、英語だけではなく韓国語や中国語、フランス語などの言葉も使っていたので、英語だけ かと思ったら世界各国を見ることができるようになっていることに驚いた。
校長	・外国語活動の時間なので、英語に限らず多言語・多文化に触れ、理解を深めている。
委員	・我々はこのように学校に来て話を聞いたり、学校の様子を見たりすることができる。地域の方も行事に招待して もらったり、子どもたちと触れ合ったりする機会があるといいと思う。回覧板等でお知らせしてみるといい。そうすると、 まさに開かれた学校になるのではないかなと思う。
校長	・校内で検討します。
委員	・子どもたちの良さや可能性を引き出す教育活動を行っていると思う。ぜひ、先生方の良さや可能性を引き出すこと も考えてほしい。先生方が幸せになることが子供たちの幸せにつながると思う。
校長	・先生方一人一人の得意とすることを引き出す学校運営をしていきます。
委員	・入口がわからずうろうろしたら、一人の子どもが「こちらです。」と案内してくれた。とても良い子どもたちだった。
委員	・コロナ禍に誕生している子どもたちのためか、運動能力が低くけが多いのが気になる。学校と同じように保育園 でも遊びの中で多様な動きを経験させている。また、小学校へ不安なくつなぐことができるよう、連携していく。
校長	・10以上の園から1年生として入学してくる。スムーズな就学を目指すためにも、オンライン等も活用し、日ごろか ら交流できるように進めていきます。
委員	・子どもたちのために、こんなにたくさんの大人が考えていると知らなかった。他のお母さんたちに伝えていきたい。
委員	・階段に埃が多くあった。ハウダストアレルギーの子も多いと思う。週2回の掃除では少ないのではないかなと思 う。ヘルシースクールという意味では十分とは言えないので検討していただきたい。
校長	・掃除の仕方も含めて、掃除の内容・回数について検討していきます。
委員	・若い先生方が多く、皆、生き生きと活動していた。子どもたちの考えをうまく引き出しながら授業を進めているので 感心した。
委員	・先生方の雰囲気がとてもよい。PTAの雰囲気も良く、大卒はよいのではないかなと思う。 問題は学力。これは学校だけでなく、家庭でも教育してもらわないとどうにもならないことだと思う。共働きも多く、 子どもたちを見てあげられない家庭もあると思うが、読み聞かせとか家でも取り組むことができるように働きかけて いく必要がある。
校長	・学校の取り組みを様々な方法で発信し、ご家庭に届くことができるよう努めます。
委員	・役職柄、他校のPTA会長とも交流している。その中で、大野小は平和だと感じている。 問題は学力かと。先ほどの意見同様、家庭も一緒に取り組まないとうちにもならない。
委員	・朝、結構遅い時間に親が連れてきたり、一人で来て門の前でうろうろしている子がいるがどうしたらよいか。
校長	・学校に連れてきていただくと助かります。
副会長	・子どもたちから元気をもらっている。これからも大野小のために皆で頑張っていきましょう。

